



会長あいさつ

埼玉県獣医師会の会員は、獣医師としての専門性を活かし、動物達の健康はもとより、食の安全・安心の確保、人と動物の共通感染症対策、動物愛護など、県民の生活には欠くことのできない多岐にわたる分野で活動しています。

また、当会では会員相互の「絆」を大切に、学会や研修会を通じて獣医学術の向上を図り、会員、ひとり一人の優れた能力を本会の活動に生かすことで、会長 中村 滋 県民生活の向上と福祉の増進に努めております。

獣医師であればどなたにでも入会していただけますので、私どもの活動に参加していただき、会員相互の連携を深め、ともに地域社会のために貢献してまいりましょう。



獣医師会の取り組み

1. 狂犬病予防対策

世界的には依然として発生が続く狂犬病に対して、我が国では、人への感染を防ぐために犬へのワクチン接種が法律で義務付けられています。このため埼玉県獣医師会では、飼い主様が予防注射を安心して安全に受けられるように、市町村長との契約に基づき集合狂犬病予防注射を長年にわたり実施し、予防に努めています。

2. 動物愛護の普及・啓発

動物との触れ合いなどの活動を通じ、動物愛護の普及・啓発を図ります。また、学校飼育動物の正しい飼い方、接し方の指導、傷病動物の治療を学校の要請により獣医技能をもって協力します。先生、児童、動物とふれ合う場を共有して優しさ、思いやり、達成感、生命の尊厳、観察力の向上など児童の感性を高める手助けをします。

3. 野生動物救護対策

埼玉県獣医師会では、埼玉県から委託を受け、47か所の県が指定する傷病野生鳥獣保護診療機関(指定診療施設)において、傷病野生鳥獣の診療、治療を行い、野生復帰を図っています。

4. 災害対策

埼玉県獣医師会では、埼玉県が定める「埼玉県地域防災計画」に基づく動物救援本部の構成員として、動物の健康維持、救援活動を通じて被災者の心の支援に努めます。また、県域を超える災害発生については、他県獣医師会や日本獣医師会と連携し、避難動物の救護活動を通じて被災者支援に取り組みます。

学術講習会開催

- 開業部会5支部がそれぞれ開催。受講機会は多数！各支部が地域の実情に沿ったテーマで講習会を開催。全県下では年間15回ほどの学術講習会が開催されており、これらに参加できます。
- 講師との親睦会で直接質問
講習会後の講師との親睦会で講師とコミュニケーションを図ることができます。
- 学会などへの参加費補助

顧問弁護士や税理士等への相談

- 顧問弁護士や顧問税理士、社会保険労務士などによる獣医師としての日常業務に関する相談が可能

情報提供

- 「埼玉県獣医師会会報」
毎月1回発行。会員様に本会の活動内容や学会、研修会の日程などの情報を提供しております。
- 「日本獣医師会雑誌」
公益社団法人日本獣医師会が毎月1回発行。専門職獣医師をはじめ、国内外関係者への獣医学術・獣医事情が提供されます。
- 「ホームページ」(一般向け、会員向け)

福利厚生など



- ソフトボール、ゴルフ大会の開催
- 獣医師会会員向けの保険制度